

車種別燃料強化キット



取付説明書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別 燃料強化キット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	14007-AH004
取付説明書品番	E04280-H14010-00
メーカー車種	ホンダ S660 DBA-JW5
エンジン型式	S07A
年 式	2015年4月～
備 考	【別途必要部品】ホンダ純正品番：07AAA-S0XA100 フューエルセンダレンチ ○本キット付属の調整式燃圧レギュレータはイニシャル圧力 4.0k に設定されています。 11004-AH001 S660 GT100R Package 付属の Flash Editor 用データを使用する際は、 燃圧の設定は変更しないでください。最悪の場合エンジン破損に繋がります。

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2016/8	初版

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	1
パーツリスト	2
仕様	3
1. ノーマルパーツの取外し	4
2. フューエルポンプの交換	8
3. 調整式燃圧レギュレータ取付け	16
4. 取付け後の確認	22

はじめに

この度は、車種別燃料強化キットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行なってください。

開封後は、必ず本体の破損、形状不良などがいないか確認してください。

本書・製品について

- 車種別燃料強化キットはエンジンの高出力化を目的とし、開発されています。
エンジンの出力向上には、水温・油温の上昇、油圧の不足が伴います。
エンジンの性能維持のため走行時には各状況の確認をおすすめします。
- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- 本製品は自動車専用部品です。加工及び分解、改造、用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工及び分解、改造、用途外の使用により受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。
ノーマル車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	大容量フューエルポンプ	1	
2	Oリング(フューエルタンク)	1	
3	カラー(樹脂)	1	
4	調整式燃圧レギュレータ	1	イニシャル圧力 400KPa
5	AN6 フィッティングエルボ	2	
6	フューエルレギュレータブラケット	1	
7	フューエルリターンアダプター	1	
8	フランジロックナット M8	1	
9	シールワッシャー	1	
10	プラグフューエルレギュレータ	1	
11	φ8 ホースニップル	1	
12	3 ウェイ ジョイントパイプ φ8	1	
13	燃料ホース	1	L=2000 mm
14	ホースクリップ(TS124)	9	
15	コルゲートチューブ	1	L=2000 mm
16	バキュームホースφ4	2	L=1000 mm
17	3 ウェイ ジョイントパイプ φ4	1	
18	インタンクフューエルホース	1	L=200 mm
19	ボルト M6 L=15	2	
20	ボルト M6 L=20	2	
21	ワッシャーM6	2	
22	大径ワッシャーM6	2	
23	スプリングワッシャーM6	4	
24	フランジナット M6	2	
25	スペーサー	2	D=15 T=5
26	タイラップ大	10	
27	タイラップ中	10	
28	取扱説明書	1	

仕様

・大容量フューエルポンプ

タイプ : インタンク式 純正置き換えタイプ

サイズ : 最大径 $\phi 38$

; 長さ 81 mm (吸入口~吐出口) / 最大長さ 84 mm

: 吸入口外径 $\phi 11$ / 吐出口外径 $\phi 9$

1. 燃圧と吐出量の関係 (吐出量を保証するものではありません)

燃圧 [kPa]		300	350	400	450	500
吐出量 [l/h]	12 [V]	95	80	65	50	40
	14 [V]	135	120	105	95	80

1. ノーマルパーツの取外し

必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行なってください。



警告

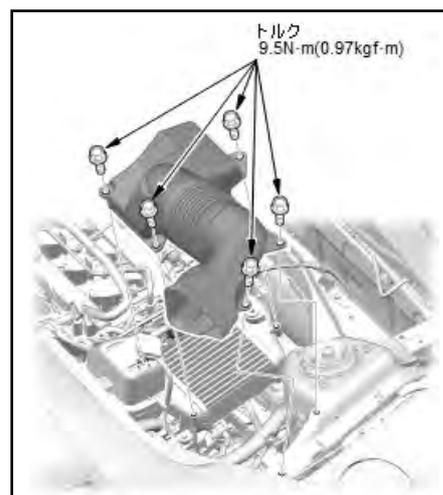
- ・ 燃料ポンプやインジェクターの交換作業を行なう際は、必ず整備要領書に従ってください。
- ・ ガソリンが飛散し、目に損傷を負う恐れ及び車両火災発生の恐れがあります。
- ・ 火気厳禁のこと。

アドバイス

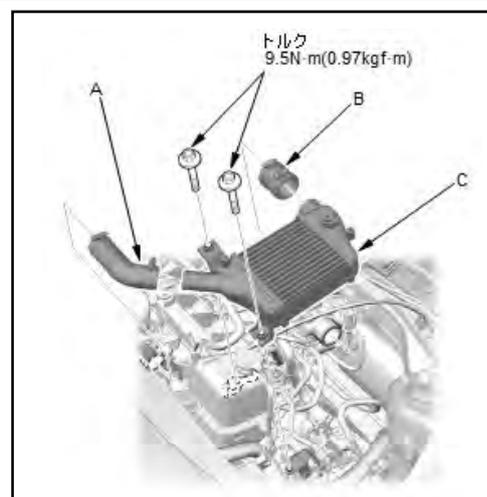
11004-AH002 GTⅢ SPORT TURBINE KIT JW5 S07A と同時に取付け作業を行う場合は、フューエルタンクを取外している間にターボ交換を行うことで作業がスムーズに行えます。燃料が大量に入った状態での作業は危険なため、必要に応じて燃料を抜いて作業を行ってください。

- (1) バッテリーのマイナス端子接続を取外してください。
- (2) フューエルフィラキャップを取外し、フューエルタンク内の圧力を抜いてください。
その後、フューエルフィラキャップを忘れずに取付けてください。

- (3) インタクーラガイド Assy を取外してください。



- (4) インタクーラホース (A) および (B) の接続を外し、インタクーラ (C) を取外してください。



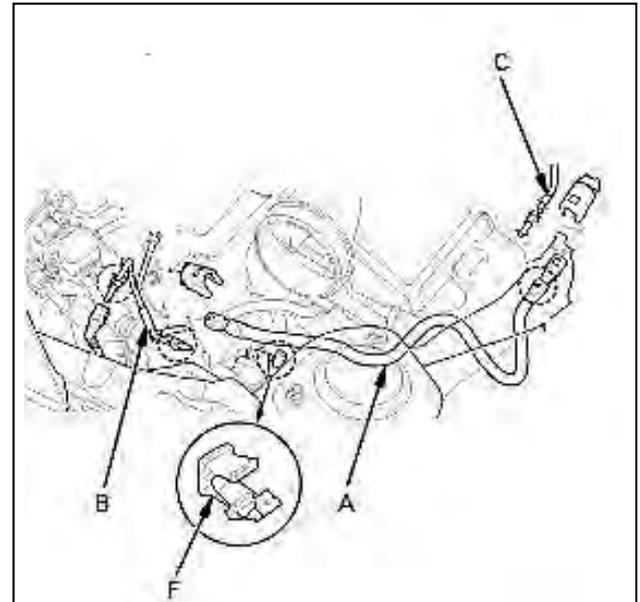
(5) 図中○部のハーネスを固定しているクランプを切り離してください。



(6) 図中○部のブラケットを取外してください。

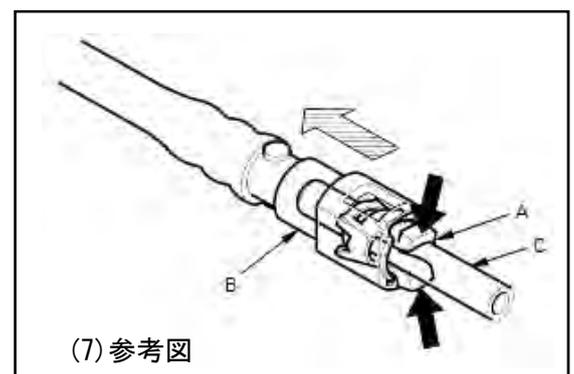


(7) A フューエルフィードチューブを
B, C から取外してください。
また、F クランプも同時に取外してください。



アドバイス

コネクタを手で持ち、
リテーナ (A) を必ず手でつまみ (黒矢印)
コネクタ (B) を引抜いてください (白矢印)。
パイプなどに傷をつけないよう必ず手で
引抜いてください。
コネクタとパイプ (C) に固着のある場合は、
リテーナを手でつまんだ状態でコネクタを
押し引きして自由に動くようになってから
引抜いてください。
パイプ側に残ったリテーナは取外さないでください。

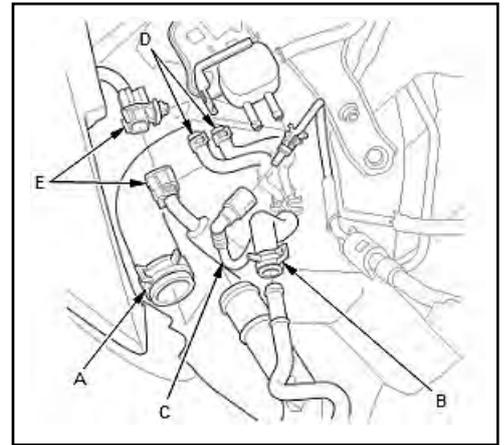


(8) フューエル フィラ チューブ (A)、
およびブリーザ チューブ (B) の接続を外してください。

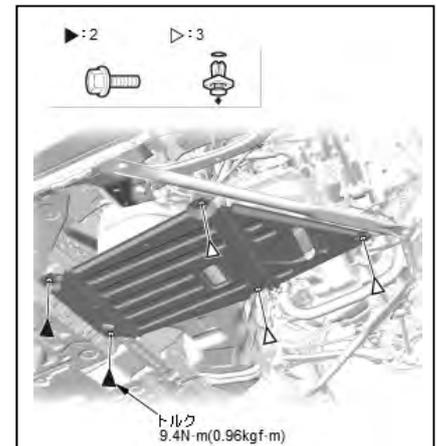
(9) クイックコネクタ式フューエル チューブ (C) の
接続を取外してください。

(10) フューエルベントチューブ (D) の接続を外してください。

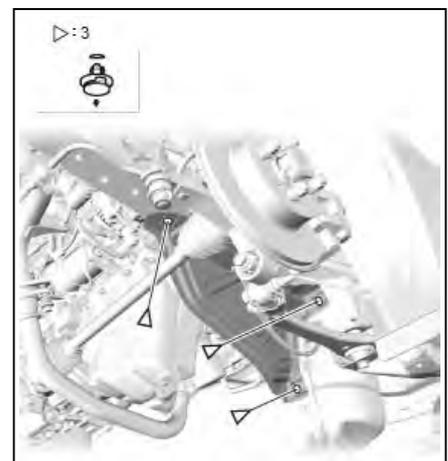
(11) フューエルサブコードカプラ (E) の接続を外してください。



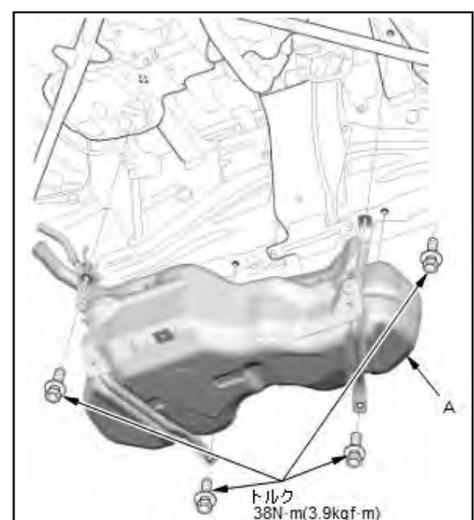
(12) 車両をリフトアップし、
リアフロアアンダカバーを取外してください。



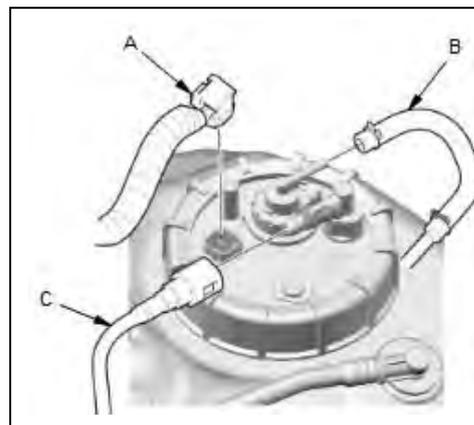
(13) リアスプラッシュシールドを取外してください。



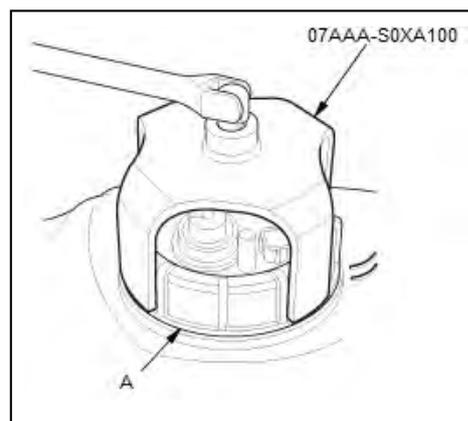
(14) ミッションジャッキなどでフューエルタンク (A) を
支えフューエル タンクを取外してください。



- (15) カプラ (A)、ブリーザチューブ (B) および
クイックコネクタ式フューエルチューブ (C) の接続を
外してください。



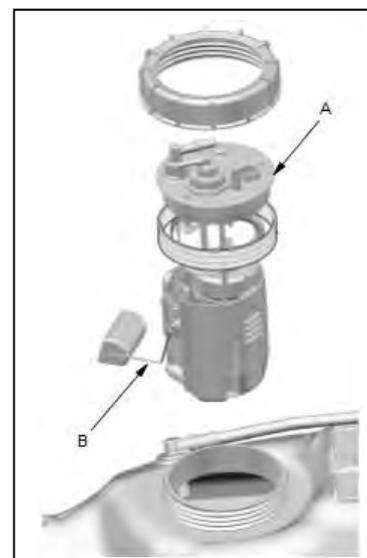
- (16) フューエルポンプモジュールのロックナット (A) を
専用工具で取外してください。



- (17) フューエルポンプモジュール (A) をフューエル タンクから
取外してください。

アドバイス

フューエルセンダユニットのフロートアーム (B) を
曲げないようにする。



2. フューエルポンプの交換

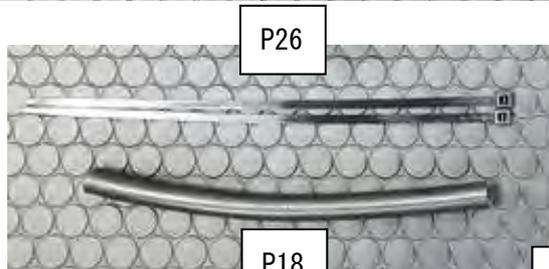
パーツリスト



P15



P13



P26

P18



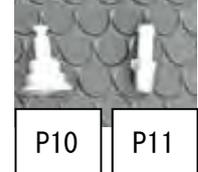
P1

P8

P9 P2 P3



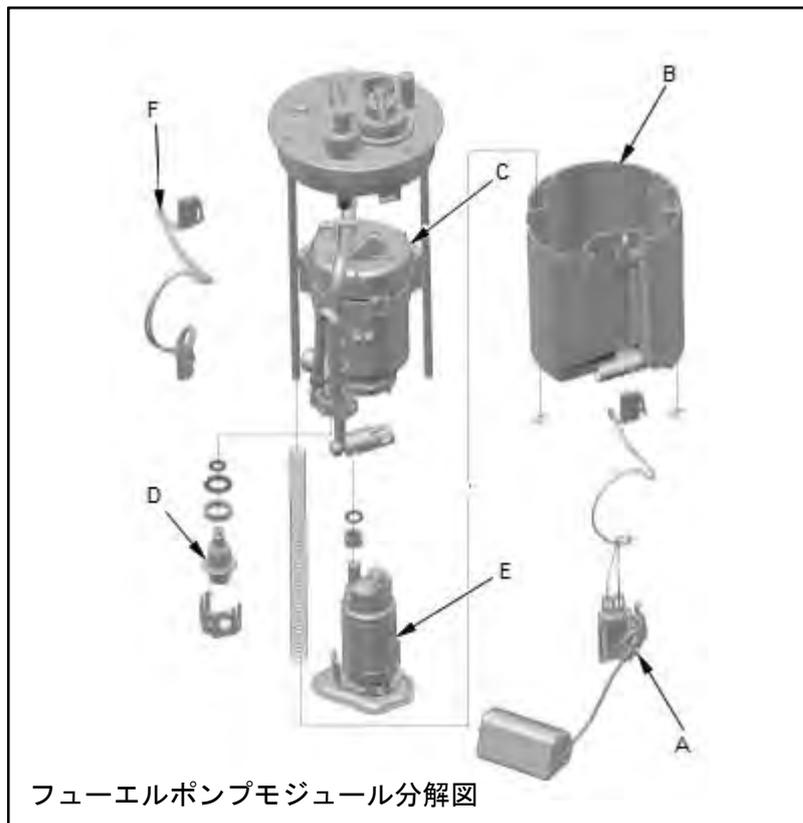
P14



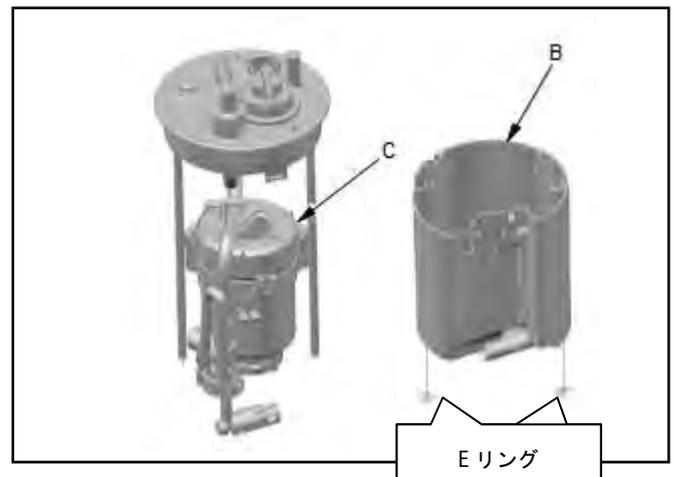
P10

P11

No.	品名	数量
P1	大容量フューエルポンプ	1
P2	Oリング(フューエルタンク)	1
P3	カラー(樹脂)	1
P7	フューエルリターンアダプター	1
P8	フランジロックナット M8	1
P9	シールワッシャー	1
P10	プラグフューエルレギュレータ	1
P11	φ8 ホースニップル	1
P13	燃料ホース	1
P14	ホースクリップ(TS124)	3
P15	コルゲートチューブ	1
P18	インタンクフューエルホース	1
P26	タイラップ大	2

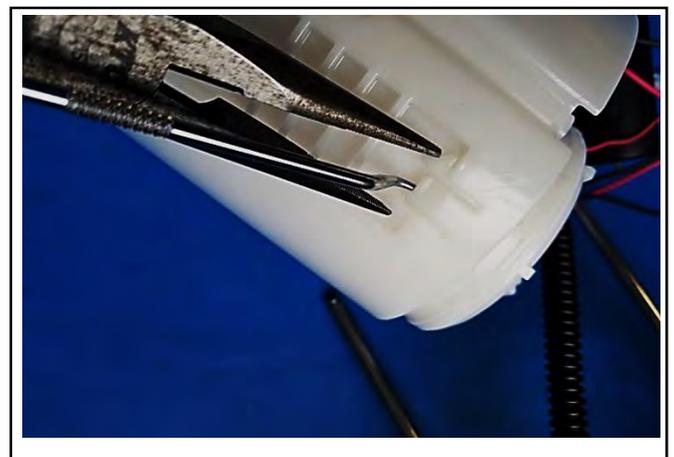


- (1) Eリング、カプラーを外し、
C燃料センサーユニットとBリザーバを
切り離してください。



アドバイス

- ・真ん中のツメを持ち上げ、
両側のツメをつまみ、切り離してください。



- (2) フューエルセンサーユニットから
フューエルポンプを取外してください。

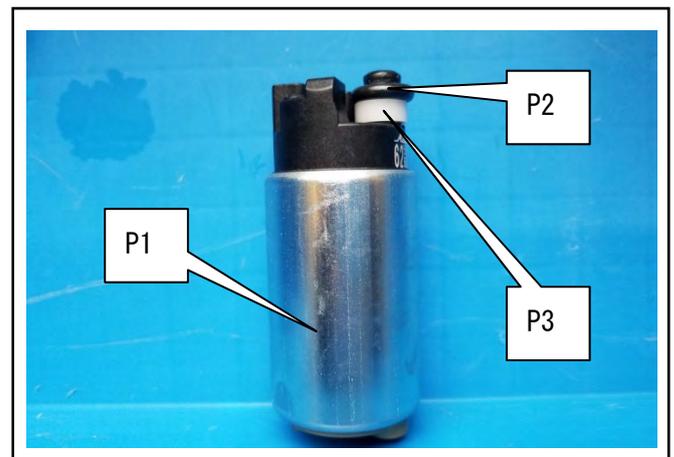


- (3) P1 大容量フューエルポンプに P2 Oリング、
P3 カラーを取付けてください。

- ・ 大容量フューエルポンプ (P1)
- ・ Oリング(フューエルタンク) (P2)
- ・ カラー(樹脂) (P3)

アドバイス

- ・ Oリングにシリコングリスを塗布してください。



- (4) フューエルセンサーユニットに
P1 大容量フューエルポンプを取付けてください。



- (5) フューエルセンサーユニットから
プレッシャレギュレータを取外してください。

アドバイス

- ・ Oリングは再利用します。

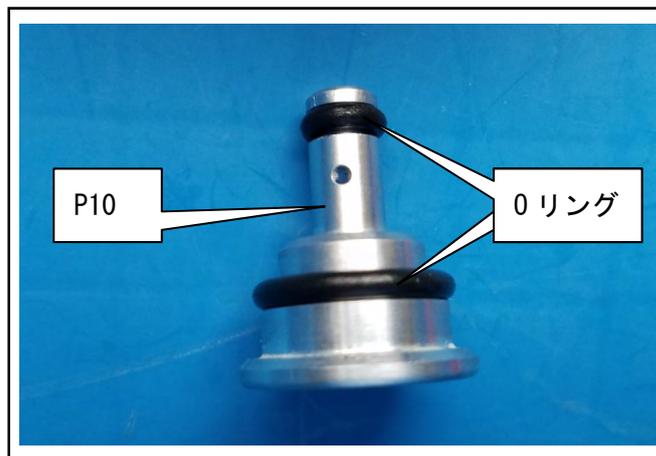


(6) P10 プラグフューエルレギュレータに(5)で取外した
Oリングを取付けてください。

- ・プラグフューエルレギュレータ(P10)

アドバイス

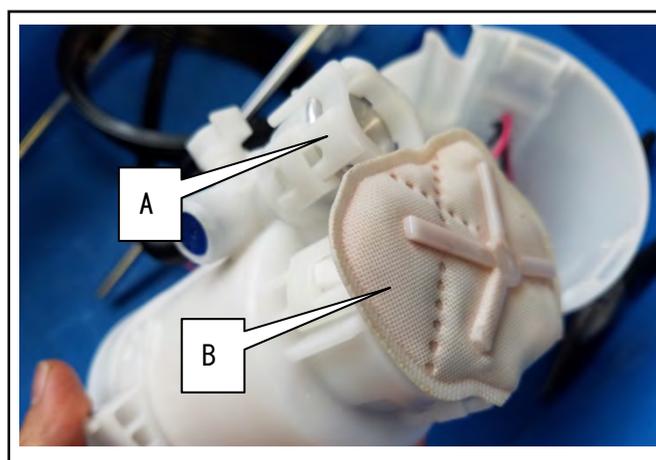
- ・Oリングにシリコングリスを塗布してください。



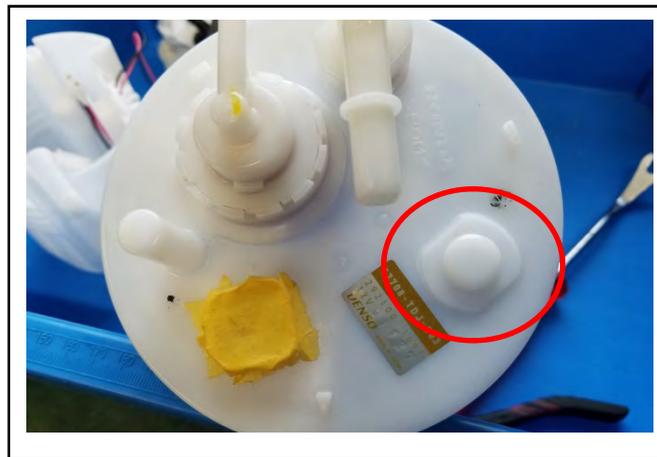
(7) フューエルセンサーユニットに
プラグフューエルレギュレータを取付けてください。



(8) フューエルセンサーユニットに
A レギュレータブラケット、
B ポンプブラケットを取付けてください。



(9) フューエルセンサーユニット上面凸部、
図中○部の中心に 8.4 mmの穴をあけてください。

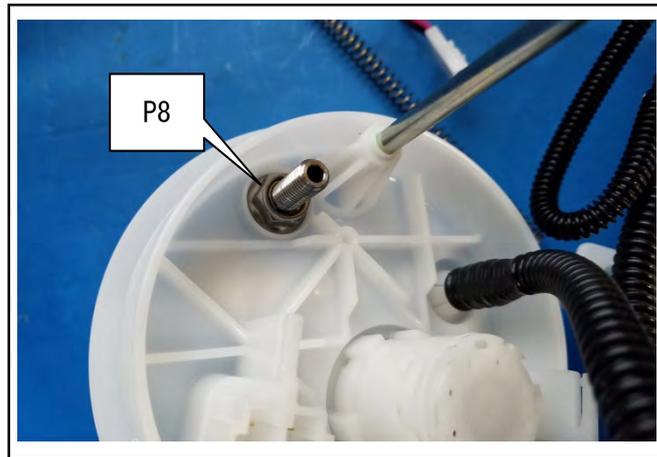
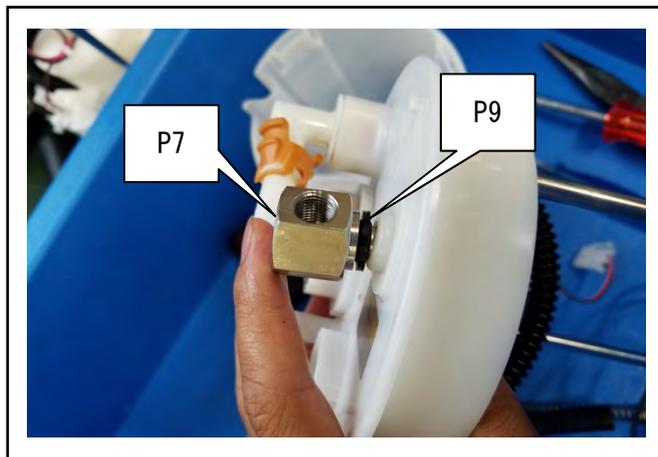
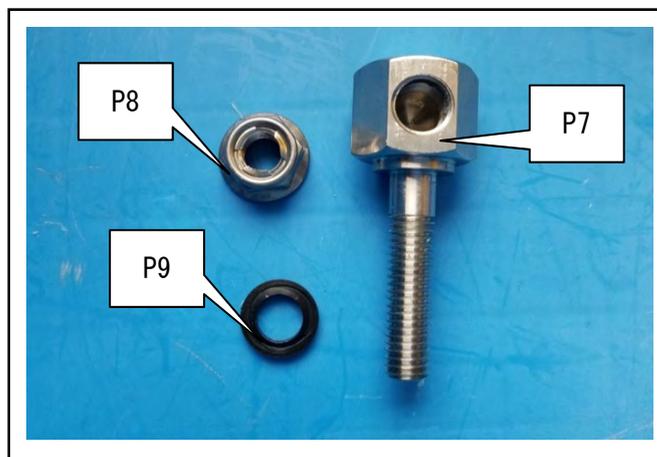


(10) (9) で穴を開けた箇所に、
P7 フューエルリターンアダプター、
P9 ワッシャー、P8 ナットを取付けてください。

- ・ フューエルリターンアダプター (P7)
- ・ フランジロックナット M8 (P8)
- ・ シールワッシャー (P9)

締付けトルク N・m(kgf・m)

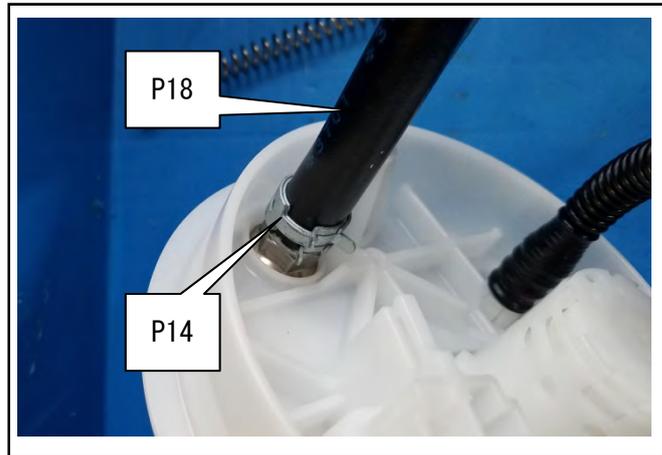
T=6.0~8.0(0.6~0.8)



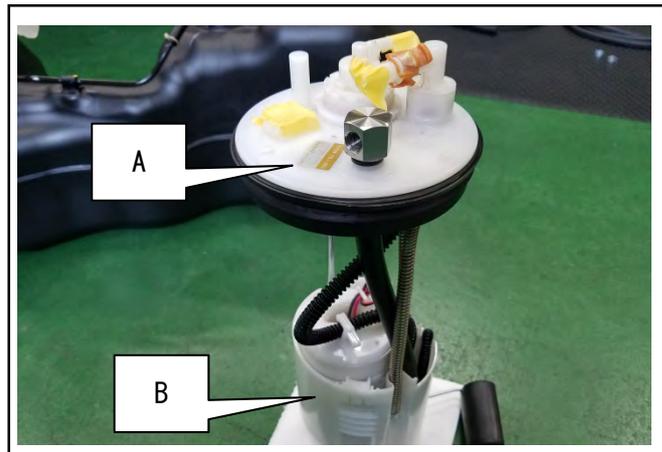
(11) (10) で取付けた、

フューエルリターンアダプターの先に、
P18 インタンクフューエルホースを
P14 ホースクリップ (TS124) を使って
取付けてください。

- ・ インタンクフューエルホース (P18)
- ・ ホースクリップ (TS124) (P14)

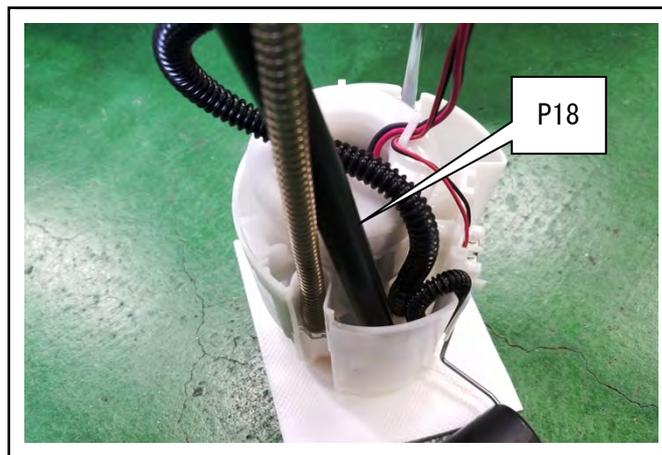


(12) A フューエルセンサーユニットと
B リザーバを組付けてください。



アドバイス

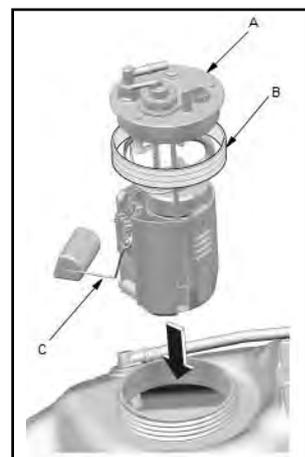
- ・ リターンした燃料がリザーバから漏れない様、
P18 インタンクフューエルホースを
リザーバの中に入れて下さい。



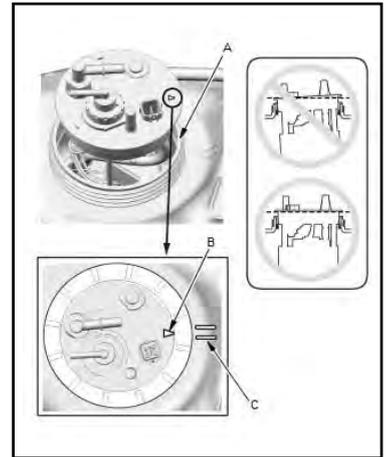
(13) フューエルポンプモジュール (A) にフューエルポンプパッキン (B) を
くぐらせた状態で、フューエルポンプモジュールを
フューエルタンクに入れてください。

アドバイス

- ・ フューエルポンプパッキンをフューエルポンプモジュールにくぐらせる時は、
パッキンを傷めないようにしてください。
- ・ フューエルセンダユニットのフロートアーム (C) を
曲げないようにしてください。



- (14) フューエルポンプモジュールの合わせマーク (B) と
 フューエルタンクの合わせマーク (C) を合わせ、
 フューエルポンプモジュールがパッキンに密着するまで
 フューエルポンプモジュールを垂直に押し込んでください。



注意

フューエルポンプパッキンにズレ、かみ込みがないことを
 確認してください。
 万ズレ、かみ込みが発生した場合、燃料漏れに至る恐れがあります。

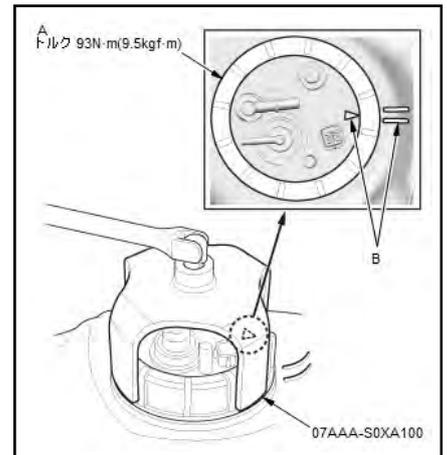
- (15) フューエルタンクロックナット (A) を、
 専用工具で締付けてください。

アドバイス

フューエルタンクロックナットを締付けた後、
 フューエルポンプモジュールと
 フューエルタンクの合わせマーク (B) が合っていること。

締付けトルク N·m(kgf·m)

T=93(9.5)

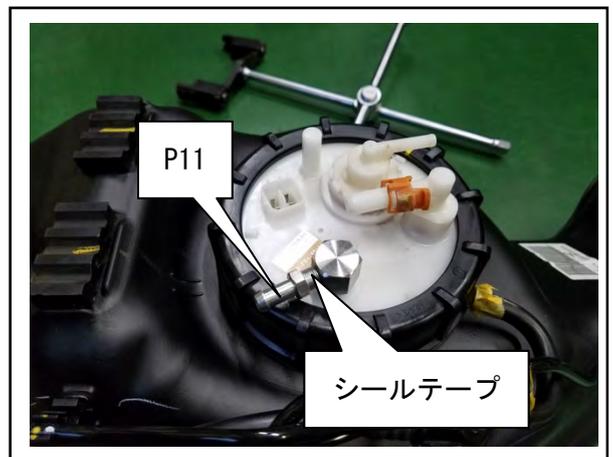


- (16) P11 φ8 ホースニップルにシールテープを巻き、
 P7 フューエルリターンアダプターに
 取付けてください。

- ・ φ8 ホースニップル (P11)

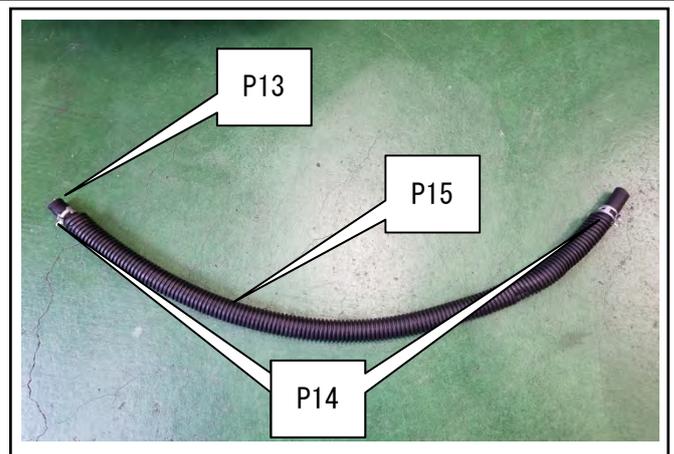
締付けトルク N·m(kgf·m)

T=7.0~9.0(0.7~0.9)

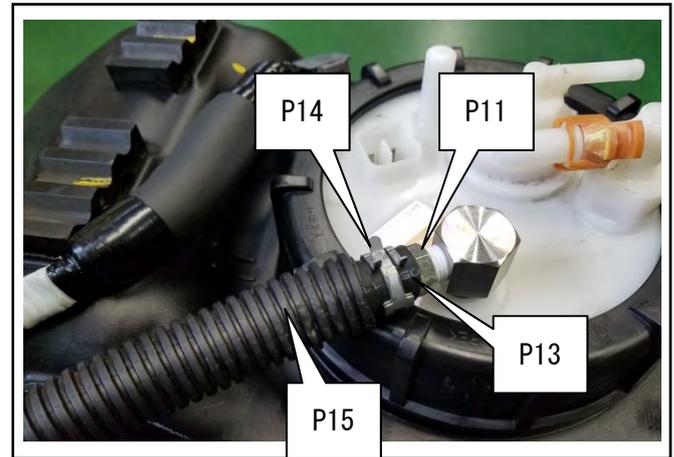


- (17) P13 燃料ホースを 600 mmにカットし、
 P15 コルゲートチューブを適当な長さで
 カットし巻きつけ、P14 ホースクリップを
 取付けてください。

- ・ 燃料ホース (P13)
- ・ コルゲートチューブ (P15)
- ・ ホースクリップ (TS124) (P14)

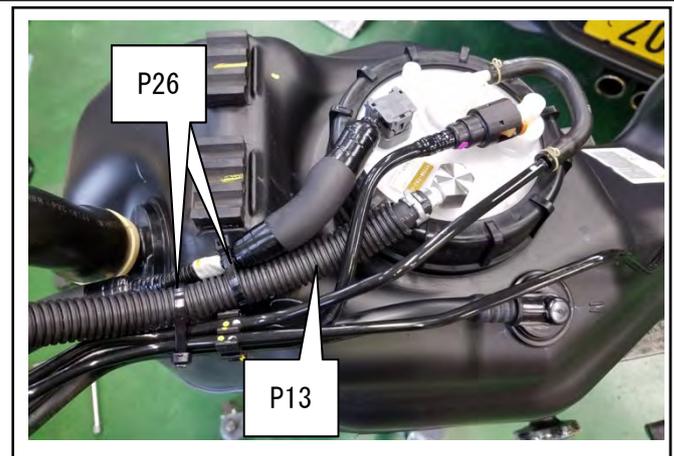


- (18) (17) で組立てた P13 燃料ホースを
(16) で取付けた P11 φ8 ホースニップルに
取付けてください。



- (19) カプラ、ブリーザチューブおよび
クイックコネクタ式フューエルチューブを
取付け、P26 タイラップ大を使用し、
P13 燃料ホースを固定してください。

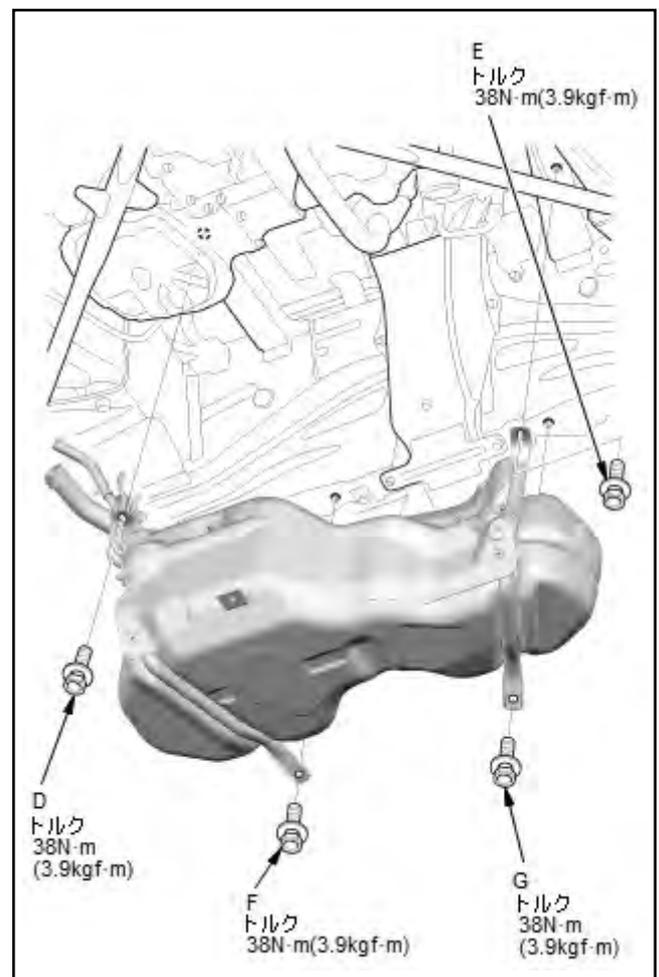
・タイラップ大 (P26) × 2



- (20) ミッションジャッキなどで
フューエルタンクを支え車体に固定してください。
ボルト (D)、(E) を仮締めしてください。
その後ボルト (F)、(G)、(D)、(E) の順で
締め付けて下さい。

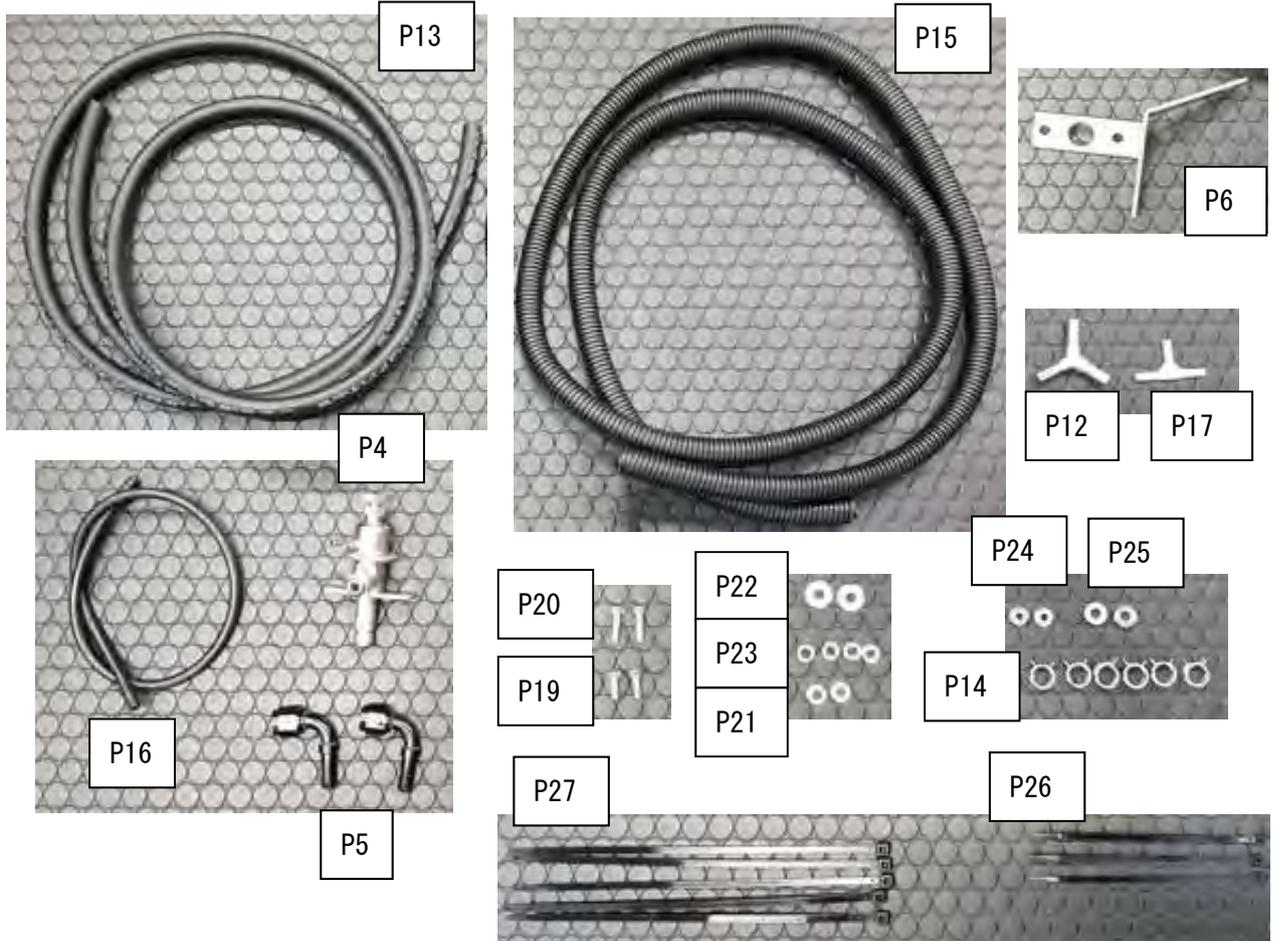
締め付けトルク N・m (kgf・m)

T=38 (3.9)



3. 調整式燃圧レギュレータ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P4	調整式燃圧レギュレータ	1
P5	AN6 フィッティングエルボ	2
P6	フューエルレギュレータブラケット	1
P12	3ウェイ ジョイントパイプ φ8	1
P13	燃料ホース	1
P14	ホースクリップ(TS124)	6
P15	コルゲートチューブ	1
P16	バキュームホースφ4	2
P17	3ウェイ ジョイントパイプ φ4	1
P19	ボルト M6 L=15	2
P20	ボルト M6 L=20	2
P21	ワッシャー-M6	2
P22	大径ワッシャー-M6	2
P23	スプリングワッシャー-M6	4
P24	フランジナット M6	2
P25	スペーサー	2
P26	タイラップ大	8
P27	タイラップ中	10

(1) 1-(7) で取外したフューエルフィードチューブを
下図を参考に、カッター等で裂き、
クイックコネクタを取出してください。

アドバイス

カッター等で少しずつ切り込みを入れながら進め、
ある程度のところで、チューブをラジオペンチ等で
引張ることで、コネクタに傷をつけずに
取出すことができます。



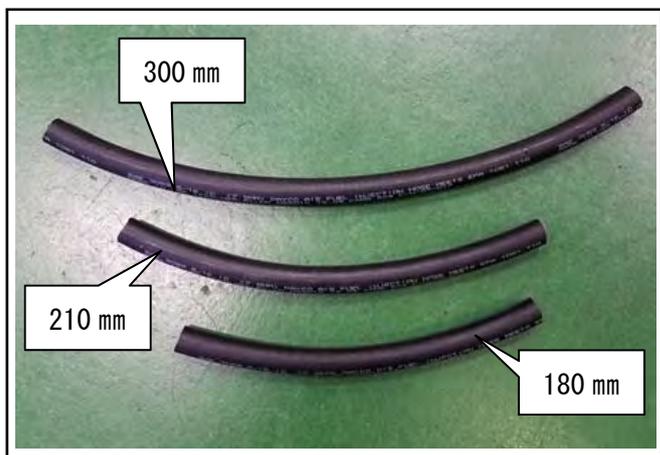
注意

コネクタに傷をつけると、燃料漏れの原因と
なります。



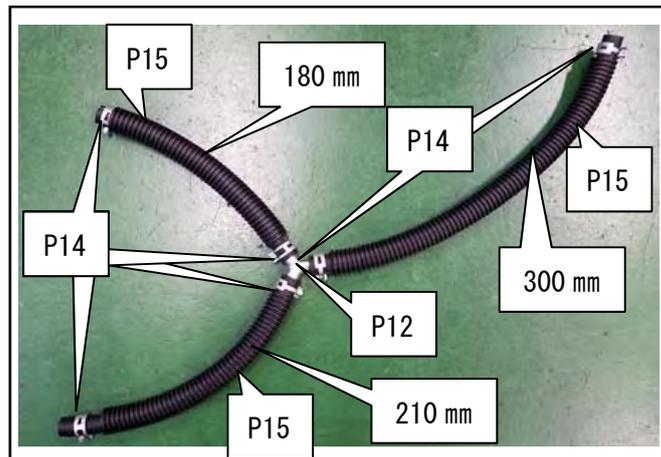
(2) P13 燃料ホースを 300 mm、210 mm、180 mm に
それぞれカットしてください。

・燃料ホース (P13)

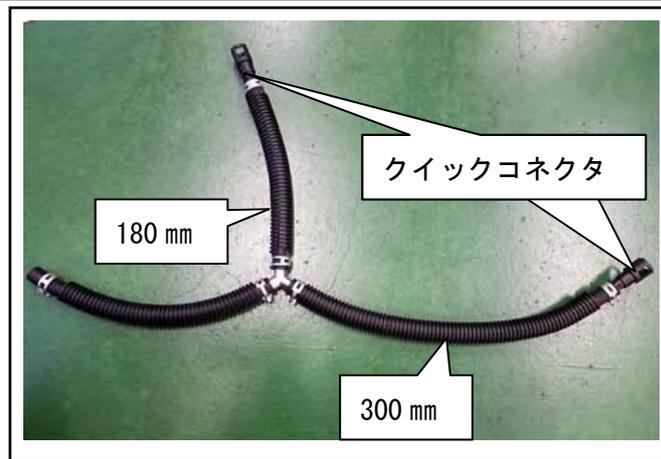


(3) (2)でカットした燃料ホースを
 P12 3ウェイジョイントパイプφ8に
 P14 ホースクリップ (TS124) を
 使用し、取付け、P15 コルゲートチューブを
 適当な長さにカットし、巻きつけてください。

- ・ 3ウェイジョイントパイプφ8 (P12)
- ・ ホースクリップ (TS124) (P14) × 6
- ・ コルゲートチューブ (P15)

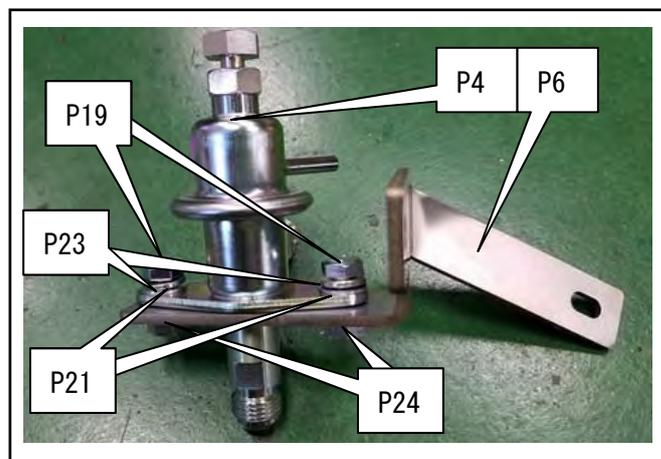


(4) (1)で取り出したクイックコネクタを
 (3)で組立てた燃料ホースに
 ホースクリップを使用し取付けてください。



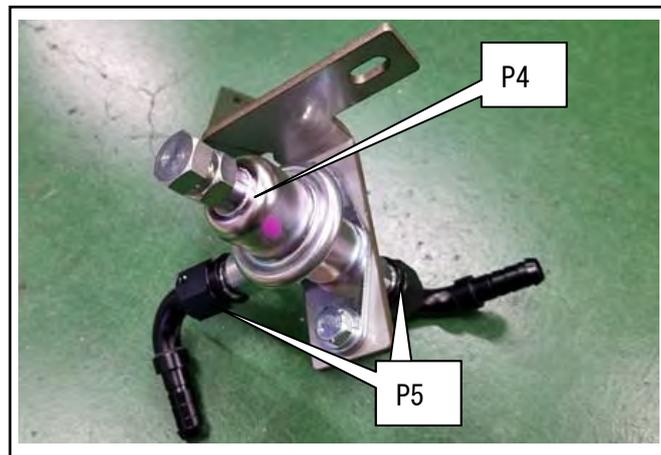
(5) P4 調整式燃圧レギュレータに
 P6 フューエルレギュレータブラケットを
 取付けてください。

- ・ 調整式燃圧レギュレータ (P4)
- ・ フューエルレギュレータブラケット (P6)
- ・ ボルト M6 L=15 (P19) × 2
- ・ スプリングワッシャーM6 (P23) × 2
- ・ ワッシャーM6 (P21) × 2
- ・ フランジナット M6 (P24) × 2



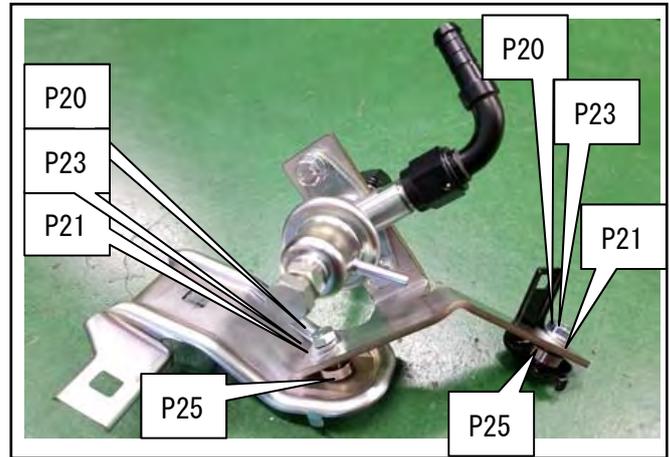
(6) P4 調整式燃圧レギュレータに
 P5 AN6 フィッティングエルボを
 仮付けしてください。

- ・ AN6 フィッティングエルボ (P5) × 2



(7) 1-(6) で取外した純正のハーネスブラケットと
燃圧レギュレータ Assy を組み合わせてください。

- ・ ボルト M6 L=20 (P20) × 2
- ・ スプリングワッシャーM6 (P23) × 2
- ・ 大径ワッシャーM6 (P21) × 2
- ・ スペーサー (P25) × 2



(8) 純正ブラケットがついていた場所に
純正ブラケットを共締めする形で、
燃圧レギュレータ Assy を取付けてください。

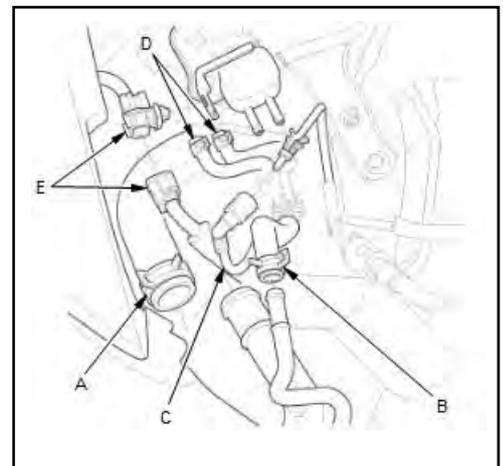


(9) フューエルフィラ チューブ (A)、
およびブリーザチューブ (B) を取付けてください。

(10) クイックコネクタ式フューエルチューブ (C) を
取付けてください。

(11) フューエルベントチューブ (D) を取付けてください。

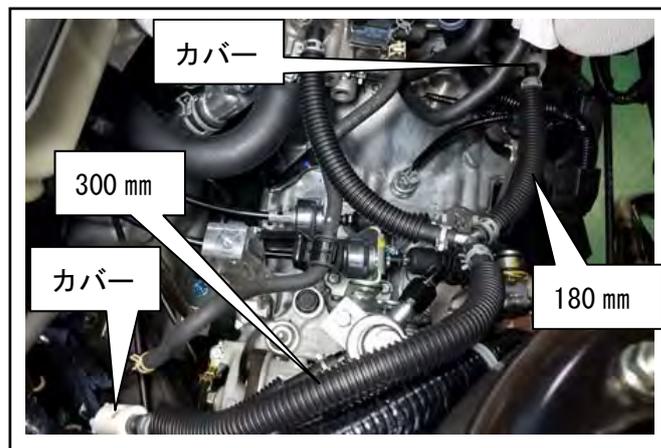
(12) フューエルサブコードカブラ (E) を取付けてください。



(13) 2-(18) で取付けた燃料ホースを
燃圧レギュレータ Assy の
リターン側フィッティングに
ホースクリップ (TS124) を使用し
取付けてください。
その後、位置出しをし、
リターン側フィッティングを本締めしてください。



- (14) (4) で組立てた燃料ホースを
純正のフューエルフィードチューブを
取外した位置に取付け、
カバーを取付けてください。



- (15) 燃料ホースを
純正のフューエルフィードチューブが
固定されていた穴を使用して、
P26 タイラップ大で固定してください。

- ・タイラップ大 (P26)

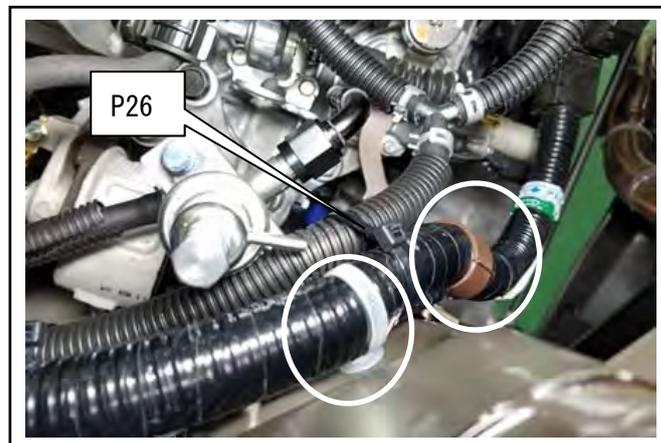


- (16) 1-(5) で切り離した図中○部のハーネスを
クランプで固定してください。

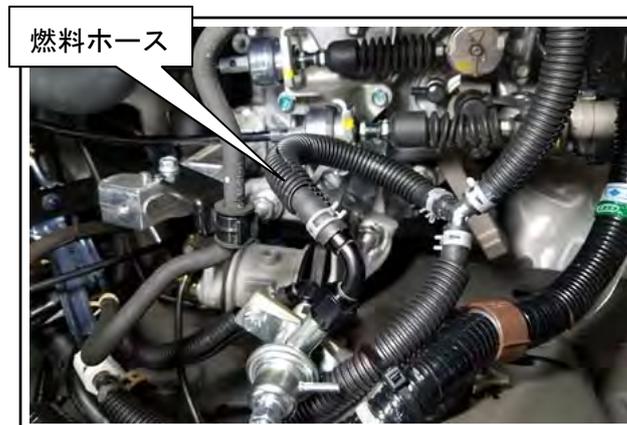


- (17) 1-(5) で切り離した図中○部のハーネスを
クランプで固定し、P26 タイラップ大を
使用してフューエルレギュレータブラケットと
共に燃料ホース、ハーネスを固定してください。

- ・タイラップ大 (P26)



- (18) 燃料ホースを燃圧レギュレータ Assy の
フィード側フィッティングに
ホースクリップ (TS124) を使用し取付け、
位置を出しフィッティングを本締めしてください。

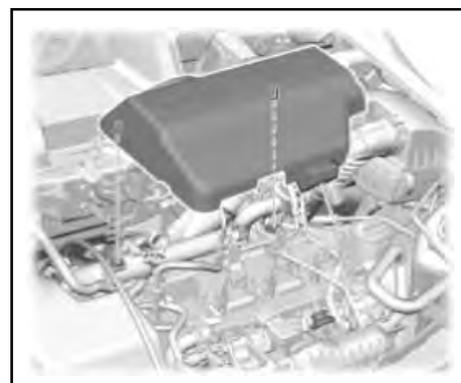


- (19) (18) で取付けた燃料ホースを
P26 タイラップ大を使用し、
エンジンハンガステーに固定してください。

- ・タイラップ大 (P26)



- (20) エンジンカバーを取外してください。

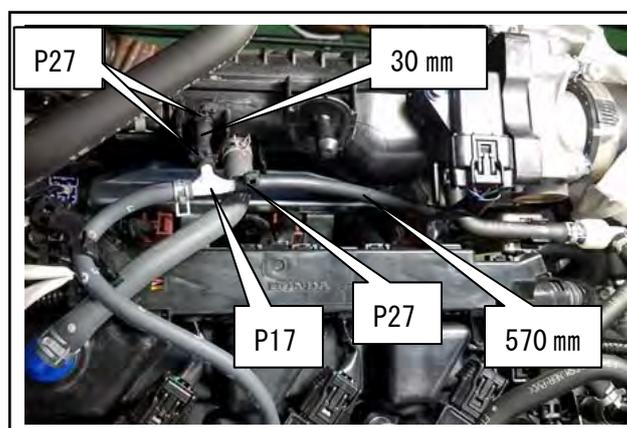


- (21) P16 バキュームホースφ4 を 30mm、570mm にカットしてください。

- ・バキュームホースφ4 (P16)

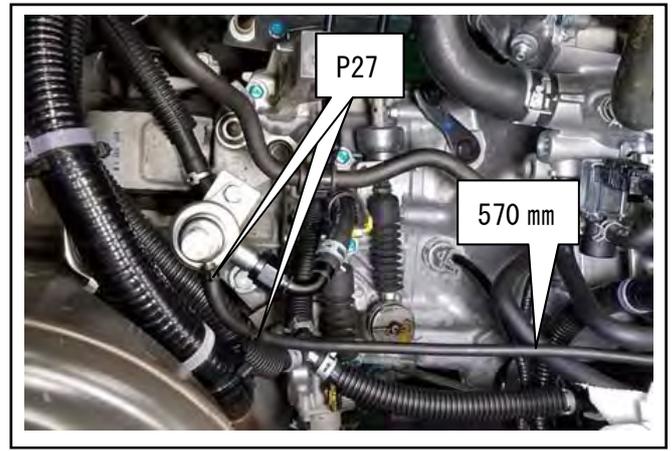
- (22) インテークマニホールドから
バキュームホースを取り外し、ホースφ4、
P17 3 ウェイジョイントパイプ φ4 を使用して
図の様に配管し、タイラップで固定してください。

- ・3 ウェイジョイントパイプ (P17)
- ・タイラップ中 (P27) × 3



(23) 燃圧レギュレータのパキューム配管に、
φ4 ホースを接続し、P27 タイラップ中を使用し、
取付け、燃料ホースと固定してください。

・タイラップ中 (P27) × 2



- (24) エンジンカバーを取付けてください。
(25) インタークーラおよび、インタークーラガイド Assy を取付けてください。
(26) リアフロアアンダカバーを取付けてください。
(27) リアスプラッシュシールドを取付けてください。
(28) バッテリーのマイナス端子接続を取付けてください。

4. 取付け後の確認

- (1) 燃料配管が正しく取付けられているかを確認してください。
- (2) 燃料配管に問題が無い事を確認して、バッテリーを接続してください。
- (3) キースイッチを ON にして（エンジンは始動しない）、燃料配管に燃圧をかけ、
配管各部に燃料の漏れが無い事を確認してください。
この動作を数回繰返してください。
- (4) 燃料の漏れが無い事を確認した後、エンジンを始動してください。
停止後に再度、漏れが無い事を確認してください。
- (5) 燃料の噴射量が変わりますので、必ず燃調のリセッティングを行ってください。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<http://www.hks-power.co.jp/>